めざす児童像		○ 楽しく学校生活を送るために、主体的・協働的に行動できる子ども																
時間割	1校時	13日 生活①	14日 国語	17日 国語	18日 国語	19日 国語	20日 国語	21日 国語	24日 国語	25日 国語	26日 国語	27日 国語	28日 国語	29日 国語	30日 国語	31日 国語	1日 国語	
	2校時	(木) 国語	(金) 生活②	(月) 算数	(火) 算数	(水) 生活④	(木) 児童会	(金) 算数	(月) 算数	(火) 算数	(水) 書写	(木) 算数	(金) 算数	(土) 算数	(日) 算数	(月) 算数	(火) 算数	
	3校時	図工	身体計測	体育	生活③	体育	体育	体育	生活⑤	体育	生活⑥	体育	生活⑦	国語	生活⑧	国語	生活⑧	国語
	4校時	学活	体育	音楽	音楽	書写	算数	国語	音楽	国語	音楽	生活⑦	国語	生活⑧	国語	生活⑧	国語	生活⑧
	5校時		☆給食指導		学活	道徳	図工	図工	図工	国語	学活	道徳	図工	図工	図工	図工	図工	図工

入学前 4月 第1週 4/12入学式 第2週 4/21 授業参観 4/25 一年生を迎える会

運動会に招待
運動会に園児を招待し、かけっこに参加させることで、小学校生活への期待をもたせる。

保育園・幼稚園訪問
1年担任が清洲保育園、清滝寺幼稚園に行き、園児を観察し、情報交換をする。

生活科「きせつとなかよしあき」
清洲保育園を訪問し、自分たちで作った遊び道具で園児に遊んでもらうことで、自分たちの成長を感じ取れるようにする。園児にとっては入学への思いが膨らむような声かけをする。

生活科「もうすぐ2年生」
園児に小学校の生活について知らせる方法を考え、園児を学校に招待する。互いに、入学、進級への希望を膨らませることが

新入生保護者説明会
入学までに、あるいは5月上旬までに、できるようにしておいてほしいことを伝えるとともに、子供に無理をさせず、温かく見守ってほしい旨を保護者に伝える。

1年担任 情報交換
来年度の入学する園児の一人一人の様子と卒園した1年生での様子について、情報を交換

学習内容

生活 「あ、あれ、わくわくがいっぱい」「きょうから1ねんせい」(4)「わくわくどきどきしょうがっこう」(16)

①「あ、あれ、わくわくがいっぱい」
・ 絵を見て気付いたことを自由に話す。

②「なかよくなりたいな」
・ 自己紹介をしたり、遊んだりする。
・ 登校の様子を伝え合う。
・ 教室等の探検をし、施設の使い方を確認する。

③「わくわくするね」
・ 幼稚園や保育園で好きだった遊びをする。
・ 音楽の教科書で知っている歌を歌う。

④「はやくやってみたいな」
・ 学校で初めて見たことやしたことを話す。
・ 学校でこれからやってみたいことを話す。

⑤⑥「こうていをさんぽしよう」
・ きまりを守って友達と探検をする。
・ 好きな場所を発表する。

⑦「がっこうのなかをあるこう」
・ 学校の中を歩く約束を考える。
・ 校内のマナーと学校施設を知る。

⑧「なにをかんだかな」
・ 校庭や校内で見つけたことを交流する。
・ もっと知りたいことや、やってみたいことについて話し合う。

他教科

- ★ 1年生になって(学活)
- ★ 家庭学習について(学活)
- ★ 掃除の仕方(学活)
- ★ いいてんき(国語)
- ★ おはなしたのしいな(国語)
- ★ あつまってはなそう(国語)
- ★ えんぴつとなかよし(国語)
- ★ どうぞよろしく(国語)
- ★ なんていおうかな(国語)
- ★ こんなものみつけたよ(国語)
- ★ じをかきせいえんぴつのもちかた/てのうごかしかた(書写)
- ★ くらべたことがあるかな おおいのはどちらかな(算数)
- ★ なかまづくりとかず(算数)
- ★ うたっておどってなかよくなる(音楽)
- ★ すきなものいっぱい(図工)
- ★ からだほぐしの運動遊び(体育)
- ★ 走の運動遊び(体育)
- ★ みんなでたのしく(道徳)
- ★ あいさつでげんきに(道徳)

めざす児童像に迫る教師側の手立て

☆ 全ての教職員は、保育園・幼稚園・認定こども園等で経験してきたことを大切にす姿勢で接する。

☆ 隣は友達と相談してみよう。グループのみんなと相談してもいいですよ。

☆ 教師は意図的に友達と関わる場面を設定するとともに、児童が様々な場面で安心して自分の思いを伝えられるように支援する。

☆ 〇〇って、何のためにやるんだろう？

☆ 〇〇さんは、こう言っているけれど、どうす

☆ 〇〇のときは、どうすればいいと思

☆ 〇〇さんが発表しているとき、みんな〇〇さんの方を向いて一生懸命聞いていました

☆ 〇〇さんは、ここに笑顔でうなづきながら聞いていますね。うれしくなっ

☆ 〇〇のことは知っているのね。すごいなあ。

☆ 幼稚園から来た子も保育園から来た子もいろんなことを知ってるね。1年生のみんな

☆ 知らなくても大丈夫だよ。先生に聞いてね。一緒にやってみよう。

☆ 授業での配慮
○ 児童の実態に合わせて、授業時間や授業内容を教科横断的に扱う。
○ 単学級であるが、体育や生活科など学習効果が高いと思われる時は、2年生と合同で授業を行う。

☆ 教師は教えるべきことと考えさせるべきことを区別し、児童の主体性を育成する支援を心がける。

☆ 上級生の関わり
○ 登校班や縦割り班の上級生として※自分が1年生の時にやってもらってうれしかったことを考えさせる。
○ 図書委員会児童による読み聞かせ
○ 休み時間の過ごし方

環境

- 学校生活に慣れるまでは、表示ロッカーや道具箱の使い方の絵表示を活用する。
- 全員の名前と誕生日がわかる掲示物を作成する。
- 校内施設の使い方や過ごし方のマナーを1から教えるのではなく、今までの経験を生かして考えさせるようにする。
- 1日の流れ等を視覚化して示す。
- 授業で作成した児童の学習の成果(作品)は、コメントを入れ早めに掲示していく。

家庭との連携

- 入学式後の懇談会において、「スタートカリキュラム」の趣旨について伝える。
- その日の児童の様子を、連絡帳や電話等でために伝える。
- 学年だよりを通して、学級経営の方